

# セグメントの概況

## 食品事業

食品事業におきましては、エリア政策として、首都圏、関西圏を重点に販売強化に取り組むとともに、販売店政策として、ピエトロブランドに対する理解と浸透に努めてまいりました。また、乳製品の新しい販売チャネルとして、コンビニエンスストアのローソンとam/pmの九州エリアで個食タイプのヨーグルトを平成17年5月から新発売いたしました。さらに、この秋の新商品として、ドレッシング『イタリアーノ』とパスタソース『たらこクリーム』を平成17年9月に新発売いたしました。この結果、売上高は26億13百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は9億86百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

## レストラン事業

レストラン事業におきましては、創業25年のキャンペーン企画として「野菜でイタリアン」をテーマに、季節ごとの旬の野菜を使ったメニュー展開をし、集客増に取り組んでまいりました。さらに、お客様に繰り返しご来店いただけるよう、サービスの向上に努めてまいりました。また、直営の店舗展開では、ミオミオ事業の不採算店を活性化するため2店舗をレストラン事業に移管し、平成17年7月にそれぞれ「ピエトロズカフェ西新店」（福岡市早良区）、「ピエトロ品川インターシティ店」（東京都港区）としてリニューアルオープンいたしました。

一方、FC店におきましては、ロイヤリティを出店数に応じた逓減方式に改め、FC店オーナーへの経営支援と出店意欲の向上を図ってまいりました。また、FC店の店舗展開では、平成17年5月に「洋麺屋ピエトロ イオン宮崎店」（宮崎市）、平成17年6月に「ピエトロ・バルコーネ アルプス通店」（山梨県中巨摩郡昭和町）の新規出店をいたしました。この結果、売上高は22億25百万円（前年同期比0.9%増）となりましたが、FC店との共存共栄のためのロイヤリティ逓減や創業25周年記念のための広告宣伝費の一時的な増加等により、営業利益は47百万円（前年同期比42.6%減）となりました。

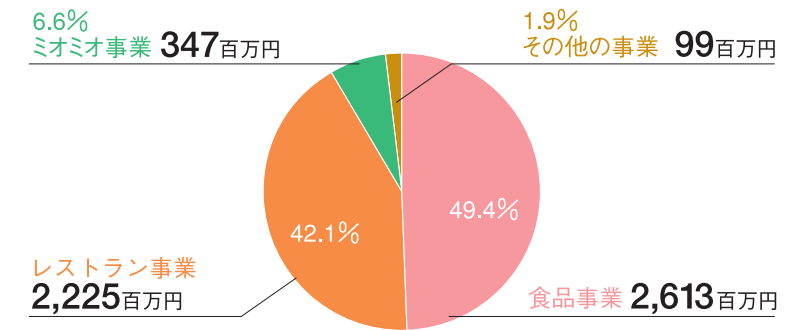
## ミオミオ事業

パスタのファストフード店を経営しているミオミオ事業におきましては、新規出店を抑制し、既存店の認知度向上による集客増と、オペレーションの見直しによる経費の効率化に取り組んでまいりました。店舗展開では、平成17年5月に「エミーオ西新店」（福岡市早良区）、平成17年6月に「品川インターシティ店」（東京都港区）、平成17年8月に「ゆめタウン博多店」（福岡市東区）を閉鎖する一方、平成17年7月に「ヤフードーム店」（福岡市中央区）を新規出店いたしました。さらに、メニュー開発におきましては、定番メニューのサラダパスタの充実に努めるとともに、この秋・冬に向けてのホットメニューとして「食べるスープ」4種類を平成17年9月に新発売いたしました。この結果、売上高は3億47百万円（前年同期比8.7%増）となり、営業損益は93百万円の損失となりましたものの前年同期比37百万円の改善となりました。

## その他の事業

その他の事業の売上高は、99百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は56百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

### セグメント別売上構成比



### 店舗分布状況 (平成17年9月30日現在)

